

文化庁委託業務

「外国につながる子どもたちのための日本語教育(JSLを含む)支援者実践的養成講座」が終了

平成21年9月から第2、第4土曜日に行ってきました文化庁委託業務「外国につながる子どもたちの日本語教育(JSLを含む)支援者実践的要請講座」が2月で終了しました。

実施委員長として活動してきた青島晴己指導員(元城教室)と受講生として参加した高島二美子指導員(砂丘教室)のお二人に感想を書いていただきました。



文化庁委託業務を終わって

青島 晴己

大人の諸事情によって日本に連れてこられた子どもたちが懸命に生きています。

縁あって日本で生活している外国につながる子どもたちがいきいきと学校生活が送れるように、そして、子どもたちの夢の実現を手助けするために、日本語教育支援活動を拡充しなければなりません、日本語指導者、支援者が不足しているのが現状です。そこで、TOMO2 ニュース NO.2 でご紹介いたしましたように、退職・現職教員などを対象として、9月より半年間、文化庁委託で「JSL を含む日本語教育支援者実践的養成講座」を開講しました。

4人の大学の先生による講座では、子どもたちの現状、第2言語としての日本語指導、JSLカリキュラム理論などを、ワークショップを交えて教えていただき、受講生に好評でした。まなびっこ・遠州浜小のJSLの実践発表、はまっこ・まつこの見学や、はまっこ指導法あれこれでは、「これが実践的ということね。」「はまっこのやり方を教えてもらい連携したい。」「自分のスキルアップに役立った。」などの感想が寄せられています。これから、養成講座開講の成果として、受講生といかに連携して外国とつながる子どもたちを支援していくかを検討していきたいと思います。



養成講座を受講して

高島二美子

「浜松市における外国につながる子どもたちが置かれている現状」は、具体的な数字により、問題点をわかりやすく理解できました。現在の経済状況で子供達が平等に教育を受けられるシステム作りが必要であると同時に地域のサポートなども必要不可欠なのだと感じました。普段の生活で外国人と関わりのない市民の皆さんにも現状を理解してもらい、関心や知る機会を持ってもらうことが大切だと思います。

「第二言語としての日本語指導」では、袴田先生の授業を久しぶりに受けました。とてもお話が理解しやすく楽しかったです。学習者が何の為に日本語を学ぶのか、また現在置かれている環境はどうか、教師側が教えた授業ではなく、学習者に必要な授業作りが重要だと思いました。また、意識と実際に使用する日本語にずれがあること、適度なアウトプットの必要性など、学院大で授業を受けていた時と違い実際に現場に立って初めて理解することも多い中で、今回の講座は今後の私に役立つ有意義なものでした。また、初めてのまつこ見学では、先生方の熱心なご指導とともに子供達もまじめに一生懸命ですごいと思いました。実際のブラジルでの勉強は全く知りませんが、全てポルトガル語での授業は、単に言葉だけでなく自分のルーツを正しく理解するのに大変役立つと思います。親御さんとの連携もとれていて、日系人の子供にとっても親にとっても非常に重要な場所だと思います。偶然はまっこの生徒もみかけましたが、小学校で見る顔とは少し違い、それが印象的でした。

「世界の子どもたち」講演会

いろいろな国を回っていらっしやった経験を、お撮りになった景色や子供の表情の写真を見せていただきながらお話いただきました。ユーモアをまじえてのお話はとても楽しいものでした。



日時:平成 22 年 2 月 20 日(土)

10:00~12:00

場所:U ホール第 24 会議室

講師:池谷 ^{ひろし} 裕氏

研 修 会

平成 21 年 8 月の研修会に続いて、第 2 回研修会「こどもの心の発達について その2」が、浜松医科大学准教授土屋賢治先生をお招きして開かれました。

日時:平成 21 年 11 月 9 日(月)14:00~16:30

場所:天竜川・浜名湖地区総合教育センター

演題:「第 2 言語と学校生活ー脳科学・精神医学的見地からの理解ー」

バザーの結果

平成 21 年 12 月 14 日(月)、全体ミーティング時に行われましたバザーでは 44,815 円の売り上げがありました。

ご協力ありがとうございました。

なお、お買い上げいただけなかった衣類等はカトリック浜松教会に寄付いたしました。

4 月、7 月のバザーの収益金と合わせて、はまっこ・まつっこ各教室で児童生徒が来年度使用するノートを買わせていただくことにしました。

今年度は 4 回実施いたしましたが、来年度は 2 回の予定です。



楽しい実験

アクティブシニアネットの皆さんのご協力で、理科を中心とした実験を見せてもらっています。

アクティブシニアネットは「人生に定年なし」「交流と参画」をキーワードにビジネスサポート、地元大学生の就職支援、パソコン講座、趣味の同好会などを行っていらっしやるグループです。

今年度は 7 月に元城教室の小学生に「シャボン玉作り」、12 月に中学生に「身近な材料を使って電池を作る」、3 月に浜名高校で「静電気と電磁石」を実演していただきました。

要望があれば、各教室を巡回してくださるそうです。



作文研究会から

作文指導部(小島指導員中心)

中学校英語教科書(SUNSHINE)に沿った日本語教材を作成しました。各課ごとの漢字、意味、和訳表現、それに伴う日本語文型の練習、参考資料等、中学生が英語の予習・復習用として使える教材です。

現在、中学 1 年生(1 課~7 課)の和訳、2 年生(1 課~8 課)の教材が元城校のファイルにあります。

「読む力」の勉強会

生徒たちに読む指導をする為には先ず自分たちの発音の仕方やアクセントからと、まつっこ・はまっこの指導員が絹村指導員を中心に音声の勉強をしています。

まつっこ指導員の日本語についての質問や悩みを出発点に始まった勉強会ですが、毎回用意される力の入った資料を手に、言語学習の難しさを知ると同時に、みんなで共に学ぶ楽しさも味わい、充実した会です。

総会のお知らせ

日時:平成 22 年 5 月 30 日(日)10:00~

場所:U ホール 第 24 会議室

NPO のメールアドレスを変更しました!

新アドレス npotomo2@yahoo.co.jp